

筑後川水系佐賀江川 広域河川改修事業

事業目的

○流下能力不足による浸水被害が発生
《平成2年7月洪水》

浸水戸数 12,614戸

(床上浸水:1,116戸、床下浸水:11,948戸)

農地浸水面積 5,447ha

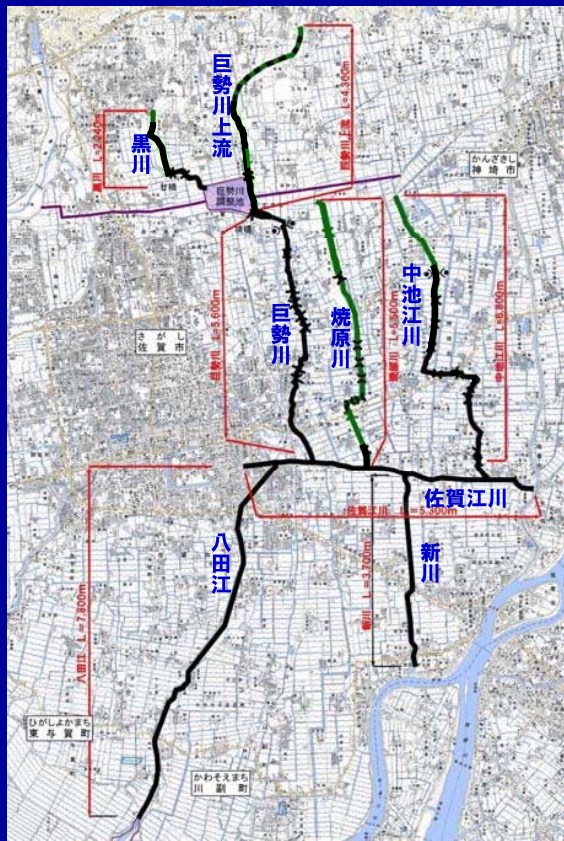
○浸水被害の軽減を図る

- ・流路是正、狭窄部解消を実施
- ・治水安全度の向上を図る

計画流量 240m³/s

計画治水安全度 1/50

事業概要



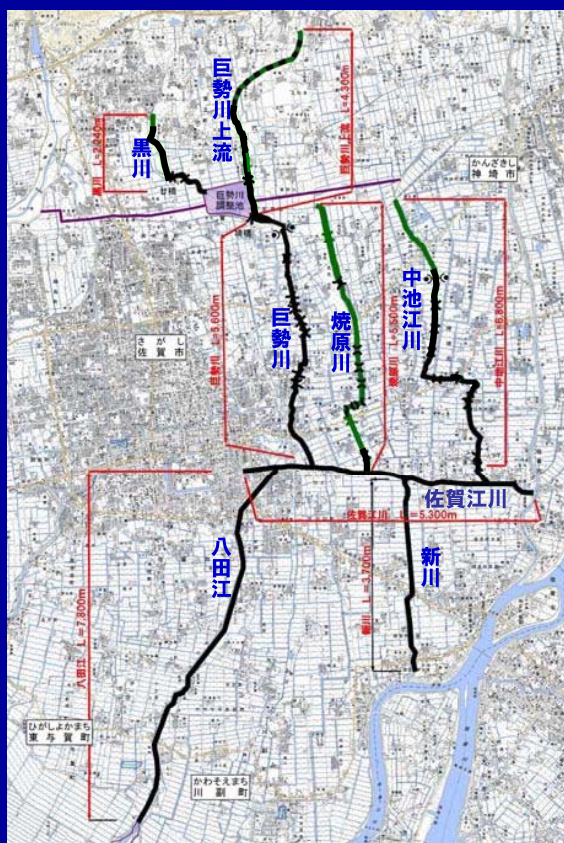
《事業採択》 佐賀江川

《工区》

佐賀江川、新川、八田江、巨勢川、中池江川、巨勢川上流、黒川、焼原川

着手年度	昭和48年
事業地	佐賀市、神埼市
全体事業費	51,410百万円
事業期間	S48~H35
改修延長	41,240m
計画流量	240m ³ /s
計画治水安全度	1/50
実施内容	掘削・築堤・護岸、樋管75基、橋梁56基、堰13基
費用対効果	6.5

事業進捗状況



- 昭和48年度 佐賀江川河川改修事業着手 (佐賀江川、新川、八田江、巨勢川、中池江川)
- 平成1年度 焼原川河川改修工事着手
- 平成2年7月 梅雨前線豪雨
- 平成2年度 巨勢川上流河川改修工事着手
- 平成4年度 黒川河川改修工事着手
- 平成6年度 新川河川改修工事完了
- 平成7年度 八田江河川改修工事完了
- 平成14年度 佐賀江川河川改修工事完了
- 平成15年10月 筑後川水系河川整備基本方針策定
- 平成20年度 巨勢川河川改修工事完了
- 平成20年度 巨勢川調整池完成 (直轄事業)

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/50
計画流量	240 m ³ /s
事業延長	41,240m
築堤	100,528m ³
掘削	1,373,570m ³
護岸	61,519m
道路橋	56 橋
樋管	75 基
井堰	13 基
全体事業費	514億円

工種	進捗率
全体事業費	91%
工事費	89%
用地及び補償費	97%

(事業費ベース)

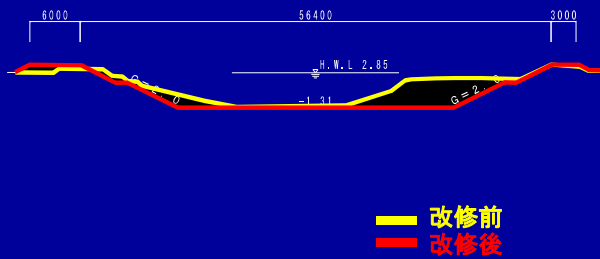
事業進捗状況

■佐賀江川工区

位置図



標準横断面図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	100%
工事費	100%
用地及び補償費	100%

(事業費ベース)
平成14年度完了

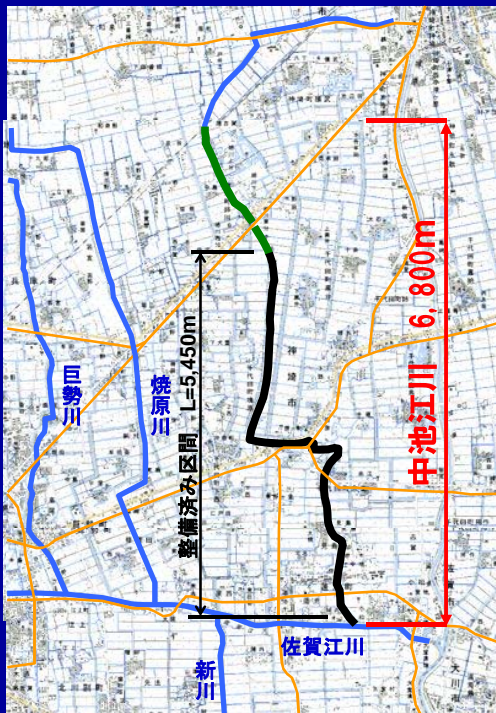
主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/50
計画流量	240~15 m ³ /s
事業延長	5,300 m
築堤	5,205 m ²
掘削	570,000 m ³
護岸	2,418 m
道路橋	7 橋
樋管	15 基

— 改修前
— 改修後

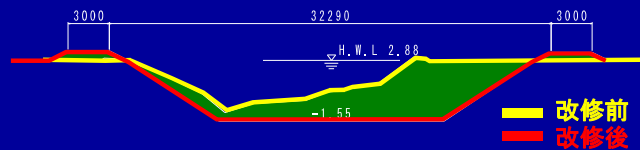
事業進捗状況

■中池江川工区

位置図



標準横断面図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	80%
工事費	74%
用地及び補償費	93%

(事業費ベース)

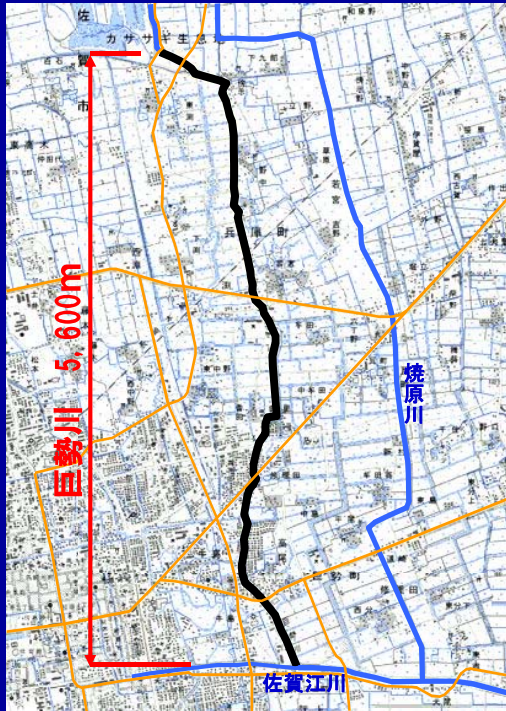
主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/50
計画流量	60 m ³ /s
事業延長	6,800 m
築堤	57,300 m ²
掘削	210,000 m ³
護岸	13,580 m
道路橋	14 橋
樋管	18 基
井堰	3 基

完了区間	—
未完了区間	—

事業進捗状況

■巨勢川工区

位置図



標準横断面図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	100%
工事費	100%
用地及び補償費	100%

(事業費ベース)
平成20年度完了

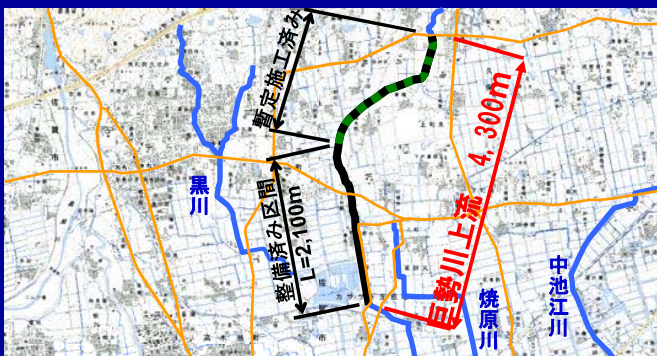
完了区間	——
未完了区間	——

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/50
計画流量	80~70 m ³ /s
事業延長	5,600 m
築堤	9,833 m
掘削	227,770 m ³
護岸	9,703 m
道路橋	9 橋
樋管	5 基
井堰	3 基

事業進捗状況

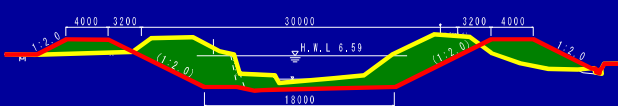
■巨勢川上流工区

位置図



完了区間	——
未完了区間	——

標準横断面図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	70%
工事費	66%
用地及び補償費	91%

(事業費ベース)

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/50
計画流量	125~60 m ³ /s
事業延長	4,300 m
築堤	7,950 m
掘削	178,500 m ³
護岸	7,950 m
道路橋	5 橋
樋管	1 基
井堰	5 基

—— 改修前
—— 改修後

事業進捗状況

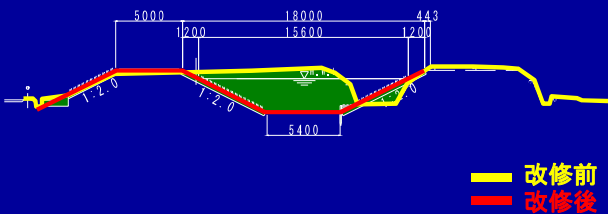
黒川工区

位置図



完了区間	—
未完了区間	—

標準横断面図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	92%
工事費	91%
用地及び補償費	97%

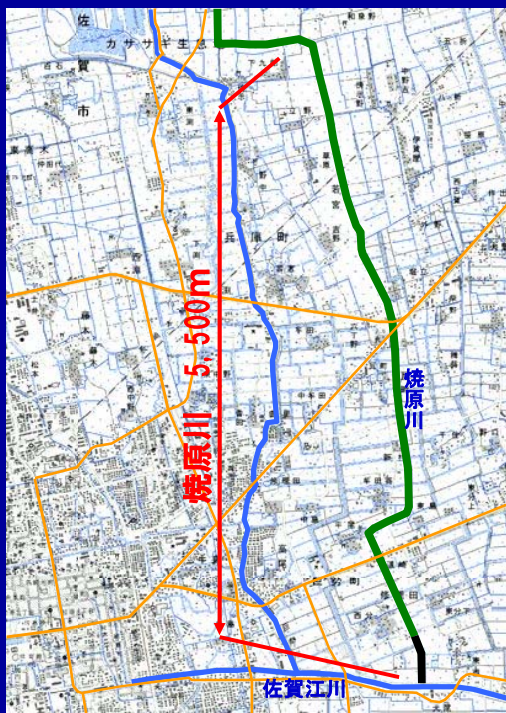
(事業費ベース)

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/30
計画流量	27 m ³ /s
事業延長	2,240 m
築堤	4,030 m
掘削	60,000 m ³
護岸	4,265 m
道路橋	4 橋
樋管	- 基
井堰	1 基

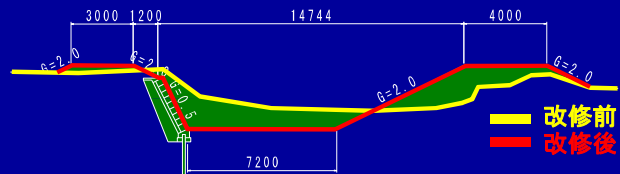
事業進捗状況

焼原川工区

位置図



標準横断面図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	81%
工事費	79%
用地及び補償費	87%

(事業費ベース)

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/10
計画流量	14~10 m ³ /s
事業延長	5,500 m
築堤	3,900 m
掘削	26,600 m ³
護岸	1,900 m
道路橋	11 橋
樋管	12 基
井堰	1 基

完了区間	—
未完了区間	—

中池江川の希少生物(植物)

絶滅危惧Ⅱ類(VU)【環境省レッドリスト】



アサガ

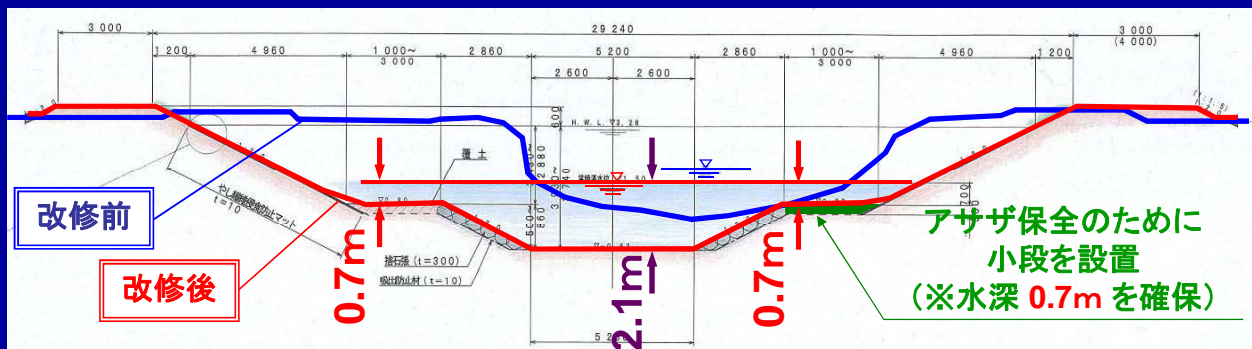
準絶滅危惧種
【佐賀県レッドリスト】



オグラコウホネ

絶滅危惧Ⅱ類種
【佐賀県レッドリスト】

希少種の生育に配慮した横断計画(中池江川)

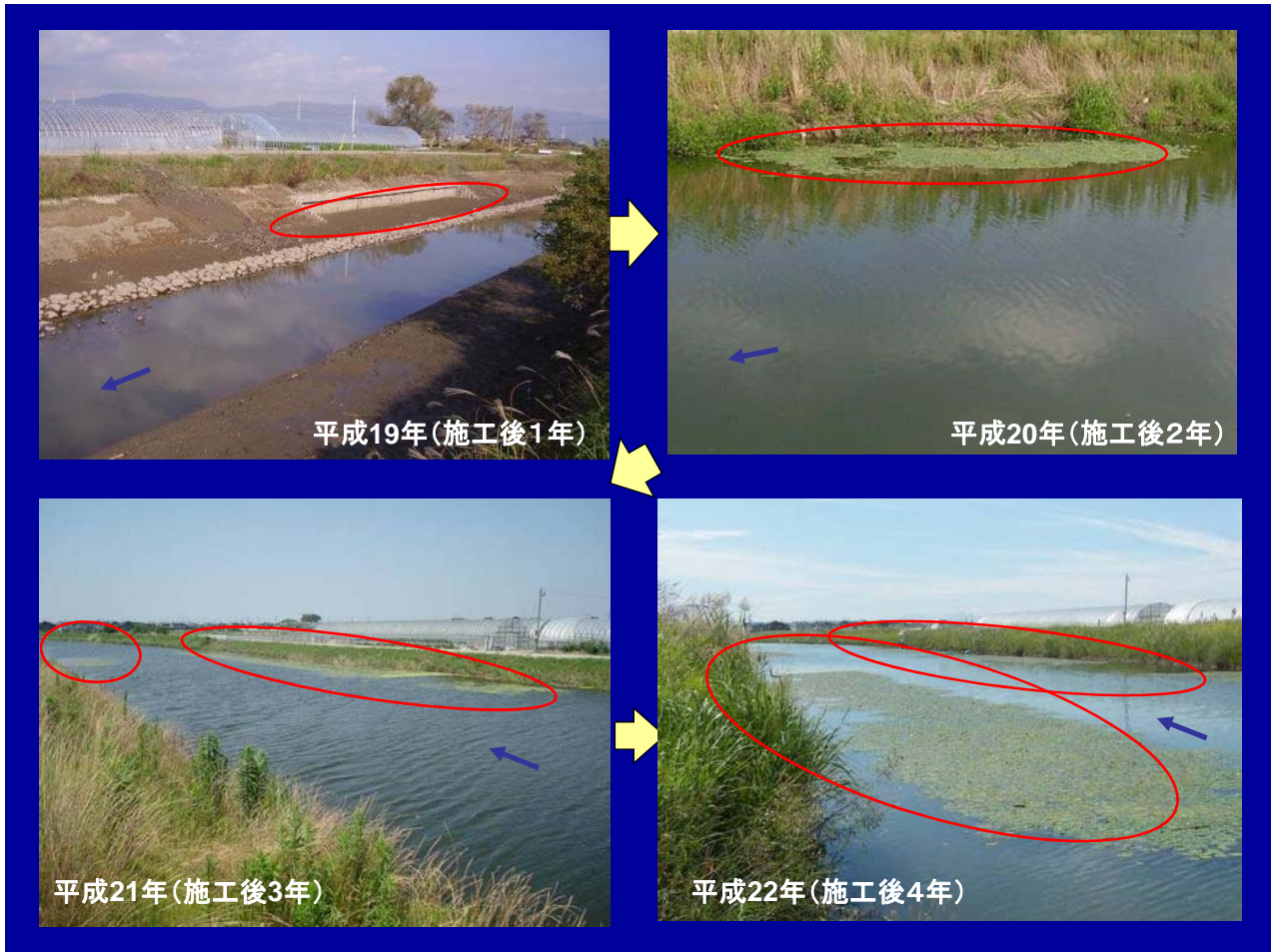


常時管理水位による水深 : 2.1m
(堰上げ水位)

アサガが
生息しにくい

(アサガ生育に最適な)

水深 0.7m を確保するため、小段を設けた複断面形



費用対効果 B/C

総費用額C : 治水施設の整備及び施設完成後50年間の維持管理に要する総費用
総便益額B : 治水施設整備によってもたらされる施設完成後50年までの総便益額
 (被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用 C : 139,160百万円

総便益 B : 899,014百万円

費用対効果 B/C = 899,014 / 139,160 = 6.5

《内訳》

- ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産) 308,649百万円
- ・農作物被害(水稻、畑作物) 7,054百万円
- ・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等) 522,757百万円
- ・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等) 60,296百万円
- ・残存価値 259百万円

過去の被害状況

昭和55年8月 梅雨前線豪雨

(連続雨量414.5mm、最大日雨量204mm、時間最大雨量37.5mm)

死者12名
佐賀市街3日間水づけ
(佐賀新聞・朝日新聞記事より)



約60cmの冠水

過去の被害状況

平成2年7月 梅雨前線豪雨

(連続雨量380.5mm、最大日雨量285mm、時間最大雨量72mm)・・・気象台HPより



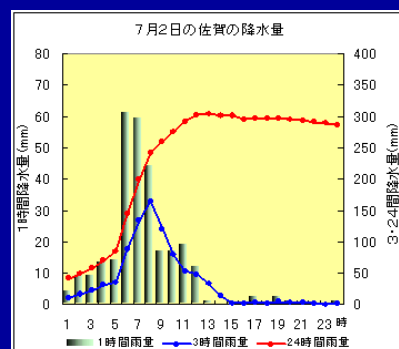
【巨勢川上流破堤状況】



【佐賀市街地浸水状況】



【巨勢川越水状況(学校橋)】



近年の被害状況

平成18年7月 梅雨前線豪雨



【巨勢川上流越水状況】



【佐賀江川状況(江上水位観測所2.73m)】

※佐賀江川はん濫危険水位3.00m

平成20年6月 豪雨



【佐賀土木事務所前道路冠水状況】



【佐賀市街地浸水状況】(佐賀新聞HP抜粋)

近年の被害状況

平成21年7月 梅雨前線豪雨

金立川 破堤・
家屋浸水 39戸



未改修区間状況



【中池江川】(姉川橋上流区間)



【巨勢川上流】(赤井出川合流点区間)



【黒川】(福島下流区間)



【焼原川】(国道34号上流)

完了区間状況



【佐賀江川】(公園西橋より上流区間)



【巨勢川】(JR橋より上流区間)



【中池江川】(佐賀市蓮池地内)



【八田江】(古江湖排水機場より上流区間)

完了区間状況



【新川】(佐賀環状自転車道より上流区間)



【黒川】(福島橋下流区間)



【巨勢川上流】(念仏橋より下流区間)



【焼原川】(薬師橋より下流区間)

佐賀江川 広域河川改修事業の**継続**について

■河川改修の効果

- ①治水安全度の向上
- ②昭和55年8月、平成2年7月等の洪水による浸水被害の軽減
- ③地域住民の安心・安全の確保

■今後の事業展開

- ・事業を継続し、早期完成を図りたい